



水出俊哉氏



代表の水出氏は高校卒業後、20人規模の縫製工場で、8年間修業を積み、出身地のさいたま市で縫製工場を立ち上げた。最大の特徴は高い縫製技術だ。「難しい要望をいただいて、なんとかやってみると、「いったいどうやってつくったんですか」と逆に問われることもあります(笑)」。また、洋服のお直しでも知られる存在だ。「こだわりの服だからプロにお願いしたい。形見の洋服を今風にアレンジしてほしい。そんなオーダーも少なくありません」。地方からの依頼も多いという。約25坪の工場には、所狭しと縫製用パーツが並んでいた。

気鋭のデザイナーたちが頼りにし、相談に訪れる
高い技術の縫製工場

「タロウホリウチ」「サカヨリ」「ファブリック・バイ・カズイ」「ジュンコ・コシノ」……取引先には、新進気鋭のコレクシヨンプランドや、若者に今注目の人気ブランド、ファッション界の大御所の名がずらりと並ぶ。

「こんな難しいこと、できるでしょうか……といった相談をお受けすることもよくあります。縫製のプロとして頼ってもらったり、信頼して任せてもらえることがうれしいですね」

代表取締役の水出俊哉氏が率いる、「ファッションいずみ」。従業員5名の縫製工場は、毎月、限界を超えるほどの仕事量を抱え大忙しだ。

「ロットが少なすぎるから、大きな工場には頼みづらい。かといって、小さな縫製屋さんでは、どうにも垢抜けない。いい縫製工場がないか悩み、探しているメーカーやデザイナーはとも多いのだと感じています」

錚々たるデザイナーたちによる同社への信頼は、技術力の高さにある。既存顧客の紹介を受けて、ひとつだけサンプルをつくって出してみると、「すごくいい！ 量産もすべてお任せしたい」と、いきなり大量オーダーが舞い込んでくることも少なくない。

「とにかく見えないところに時間をかけます。そして細かな作業を丁寧に正確にやる。例えば、合印は生地を傷め

PROFESSIONAL
in
FASHION

プロフェッショナルの志事

【ファッションいずみ】

ファッションいずみ。さいたま市にある、知る人ぞ知る、従業員5人の縫製工場だ。取引先は、新進気鋭のデザイナーから大御所まで幅広く、続々と仕事が押し寄せている。手掛けた製品がファッション誌の表紙を飾ったこともある。高い縫製技術を持ち、デザイナーたちから厚い信頼を得ている、同社の秘密を探った。



有限会社ファッションいずみ Fashion Izumi

本社 〒338-0812 埼玉県さいたま市桜区神田1-6-4 関口ビル2階
創業 1991年
資本金 300万円
従業員数 5名
事業内容 婦人服縫製加工業、婦人服製造販売
洋服のお直しファッションリフォーム

取材・文 上阪徹 撮影 細谷聡